多野藤岡地域懇談会（７月３１日）

今年度、群馬県の未来や地域の課題を県民と一緒に考える場として、「未来構想フォーラム」が県内全 35 市町村で順次開催されています。
藤岡市での未来構想フォーラムの開催に先立ち「多野藤岡地域懇談会」が行われ、藤岡市長、神流町長、上野村長らとともに出席しました。
群馬県では、2040 年に目指す姿を描いた「新・群馬県総合計画」を 2020 年に策定しています。計画策定から5年余りが経過し、群馬県を取り巻く環境が大きく変化していることから、今年度、新・群馬県総合計画のアップデート（改定）を行うことになりました。
今回、そのアップデートの内容について山本知事から説明があり、その後出席者との意見交換が行われました。
総合計画は県政運営の基本指針となり、この計画をもとにして様々な施策が展開されます。安心・安全で将来に持続可能な群馬県の創造に向け、引き続き議論を進めてまいります。





藤岡市・令和９年度群馬県予算等に関する要望活動（８月１８日）

藤岡市が毎年夏の時期に行っている「群馬県予算等に関する要望活動」に今年も地元選出県議として同席し、山本知事に要望書を提出しました。要望内容は、幹線道路の整備や農林業の振興、教育環境の整備など９項目となります。
藤岡市の今後の持続的発展や市民の安心・安全につながるよう、議会質疑や関係各所への働きかけを通じてその実現を後押ししてまいります。



ぐんまシチズンシップ・アカデミー（９月 18 日）

群馬県議会が県内の大学生を対象に、県政や県議会への関心を高めることを目的として定期的に開催されています。一般質問を傍聴した学生がグループに分かれて議員と意見交換を行いますが、私のグループには関東学園大学、群馬医療福祉大学、県民健康科学大学から 4 名の学生が参加しました。質問を傍聴した感想や、群馬県にこれからも住み続けたいか、どうすれば若者が政治に関心を持つかなど、幅広いテーマについて意見交換を行いました。



主な活動記録（７月～１０月）

1. 藤岡特別支援学校高等部販売会（７月２日）
2. 芦田町大盆踊り大会（８月８日）
3. 日航機事故追悼慰霊式（８月 12 日）
4. 藤岡地区納涼祭（８月 22 日）
5. 群馬県道路協会藤岡多野支部総会（９月９日）
6. 鬼石夜市（９月 12 日）
7. 手話言語の国際デー・ライトアップ（９月 23 日）
8. 藤岡市社会福祉大会（10 月３日）
9. 小野地区芸能発表会（10 月４日）
10. 浄法寺丹生神社秋季例大祭（10 月 11 日）
11. 市民活動フェスティバル（10 月 11 日）
12. スポーツ協会藤岡支部「秋のスポーツフェスティバル」（10 月 12 日）



金沢みつたか LINE 公式アカウント

金沢みつたか 公式 LINE

議員活動の発信のほか、皆様からのご相談・ご要望等もお受けしています。
ぜひ「友だち登録」をお願いします！

ホームページや SNS を通じて日々の活動もタイムリーに発信！

WEB サイト / facebook / X（旧 twitter） / Instagram

「いいね！」や「フォロー」をお願いします

金沢みつたか プロフィール

1977 年 7 月 10 日生まれ（49 歳）藤岡市立平井小・西中、県立富岡高校卒業。大東文化大学法学部卒業。明治大学公共政策大学院中退。さいたま市長政務秘書。衆議院議員秘書。2014 年（12,076 票）、2018 年（13,573 票）、藤岡市長選挙に出馬するも惜敗。2019 年 群馬県議会議員初当選（14,232 票）。2023 年 2 期連続トップ当選（14,346 票）。NPO 法人（障害者支援）理事。

群馬県議会議員（藤岡市・多野郡区）

金沢みつたか 県議会レポート

Prefectural assembly report



2026 年（令和 8 年）11 月発行 令和 8 年第 3 回前期定例会・一般質問報告号

発行・編集：金沢充隆 〒375-0024 藤岡市藤岡 619-13 つるやビル 2F TEL 0274-50-8537 FAX 0274-50-8538 E-mail:info@m-kanazawa.net



令和８年第３回前期定例会（９月 15 日～ 10 月８日）

可決された９月補正予算の主な内容（一部）

●県内企業生成 AI 導入・活用支援
県内企業の生成 AI 活用を促進するため、産業技術センターに生成 AI を活用できる環境を整備し、企業への助言や活用方法の実証支援を実施。

●交通安全施設整備（道路標示）
安全・安心な交通環境を確保するため、摩耗した黄色センターラインについて、緊急的に塗り替えが必要な区間の予算を増額。

●普通教室老朽化空調更新
令和９年度以降に予定していた県立学校普通教室空調設備更新の一部を前倒しで実施。

●介護支援専門員安全確保対策
令和８年６月に発生した介護支援専門員死亡事件を踏まえ、介護支援専門員の安全確保を図るため、利用者宅訪問時の同行支援体制を整備。

●防災ヘリ修繕等
災害時や救急要請時に防災ヘリが迅速に出動できる体制を確保するため、調達に時間を要する予備部品の修理や購入等を行う。また、物価高騰の影響等を踏まえ、予備修繕費を増額。

会派から山本知事に政策提言を行いました。

10 月 13 日、会派としてまとめた「令和９年度予算編成に向けた群馬県政に対する提言書」を山本知事に提出。その後の意見交換の中で、各要望項目について直接説明を行いました。
内容は、「官民ファンドによる地域への戦略的投資」、「水害防止に向けた河川の伐木・浚渫（しゅんせつ）の推進」、「賃上げ促進支援金の申請改善」、「被災した事業所への支援体制整備」、「県育成いちご３品種の安定生産とブランド戦略の推進」など、7 分野 44 項目にわたります。
群馬県の持続的発展や県民幸福度の向上、誰ひとり取り残されない県政に向けて、今後も要望項目の実現に取り組んでまいります。







９月18日　一般質問項目・要旨（カッコ内は答弁者）

一般質問の様子は、「群馬県議会ホームページ」から録画中継でご覧いただけます！
「群馬県議会」▶「議会中継」▶「議員名から選ぶ」

1. 学びの多様化学校について（教育長）

全国的に不登校児童生徒が増加する中、一人ひとりの実態に応じた柔軟な教育課程を編成できる「学びの多様化学校」の設置が全国で広がっています（令和８年８月時点で 84 校）。
群馬県内では、藤岡市において来年 4 月、旧日野小学校の校舎を活用し、県内初となる学びの多様化学校が開校する予定です。
設置・運営主体は藤岡市になりますが、子どもたちが安心・安全に学べる環境を整えるため、県教育委員会としても適切な教職員の配置（ 加配教員、スクールカウンセラー･スクールソーシャルワーカー等の専門職 ）を行うなど、必要な支援を行うことを要望しました。

【群馬県内の不登校児童生徒の現状】

	不登校児童生徒数	全児童生徒数に対する割合
小学校	1,783	2.06%
中学校	2,948	6.28%
合計	4,731	3.54%

※小学校では12年連続増加。中学校では11年ぶりに減少するも、割合としては増加。

出典：群馬県教育委員会「令和6年度 児童生徒の問題行動･不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果」

2. 郷土芸能の保存・継承について（地域創生部長）

群馬県内には、神楽や獅子舞、祭囃子など、地域の歴史や暮らし、信仰の中で育まれてきた多様な郷土芸能が受け継がれています。これらは、地域の文化や伝統を伝えるだけでなく、世代を超えた交流や地域コミュニティの形成にも重要な役割を果たしています。
担い手の減少や地域のつながりの希薄化が進む中、郷土芸能の保存・継承は今後の重要な課題となります。県の現状認識や今後の取り組みについて質すとともに、郷土芸能の保存団体と新たな担い手をつなぐ仕組みづくりや、担い手が活動に参加しやすい環境づくりを要望しました。

群馬県内の民俗芸能の状況

令和６年度			
総件数	857		
順　調	484	56.5%	57.1%
復　活	5	0.6%	
危　機	35	4.0%	42.9%
中断中	180	21.0%	
廃　絶	153	17.9%	

出典：群馬県教育文化事業団「群馬県伝統文化調査報告書」

3. 障害福祉サービス事業所等における不正防止に向けた取り組みについて（福祉局長）

全国の障害福祉サービス事業所における報酬等の不正受給は、2020 ～ 2024 年度の 5 年間で約 80 億円、行政処分は 936 件にのぼり、増加傾向にあると報道されました（2026 年 6 月 6 日・共同通信）。一方、事業所数の増加に行政の指導体制が追い付かず、国が求める運営指導の実施目標を達成した自治体は 1 割余りにとどまっています。
大多数の事業所が適正に運営を行っている中、一部の事業所による不正を防ぎ、利用者の安心と制度への信頼を守ることが重要となります。県内の障害福祉サービス事業所の不正の現状と運営指導の実施状況、今後の不正防止に向けた取り組みについて質しました。

【2025 年度群馬県内の障害福祉サービス事業所の不正による処分件数】
▶処分件数：4 件
（いずれも介護給付費の不正請求）
▶不正額の合計：約 2,900 万円
※福祉局長答弁より。

群馬県では、事業所に対する適正運営確保のため、定期的に確認する「運営指導」と、不正事案が疑われる場合に調査を行う「監査」を実施しています。

4. 障害者福祉における「１８歳の壁」について（福祉局長）

「18 歳の壁」とは、特別支援学校等の高校卒業後、児童福祉サービスから成人向けの障害福祉サービスへ移行する際に生じる課題を指します。
在学中は「放課後等デイサービス」を利用し、夕方まで支援を受けられますが、卒業後は原則として利用できなくなります。一方、卒業後に利用する生活介護事業所などは夕方までに終了することが多く、夕方以降の居場所の確保が難しくなり、保護者が就業時間の短縮や離職を迫られるなどの問題が生じています。
放課後等デイサービスの利用者は年々増加し、今後さらにこの問題が顕在化する懸念もあることから、県の今後の取り組みについて質しました。

【群馬県内の放課後等デイサービスの利用者数と今後の見通し】
▶平成 30 年度末：2,644 人
↓
（43% 増加）
▶令和４年度末：3,788 人
↓
（28% 増加）
▶令和８年度末:4,867 人（見込み）

※「ぐんまバリアフリー障害者プラン8」より。

5. 医療的ケア児・者への支援について

（１）医療的ケア児支援法改正を受けた今後の取組について（福祉局長）
（２）知事の思いについて（知事）
2021 年に成立した「医療的ケア児支援法」が今年７月に改正されました。支援対象が成人の医療的ケア者や重症心身障害者にも拡大され、ライフステージに応じた切れ目のない支援が求められることから、今後の県の取り組みについて質しました。
また、質問した９月１８日が「医療的ケア児・者支援の日」に定められていることから、知事に今後の支援に関する思いについて伺うとともに、医療的ケア児・者を応援する思いを込めて、毎年９月１８日に県庁昭和庁舎をライトアップするよう提案しました。

6.「群馬県避難ビジョン」について（危機管理監）

群馬県では災害時に県民の命を守るため、2021 年に「群馬県避難ビジョン」を策定しました。このビジョンでは、「避難の選択肢の多様化」や「避難所生活の質の向上」などを重点的な取り組みとして掲げながら、令和 7 年度末を目標とする KPI（重要業績指標）を設定し、避難体制の充実・強化を進めてきました。
KPI の達成状況を確認するとともに、これまでの取り組みを通じて明らかになった課題や、それらを踏まえた今後の対策の方向性について質しました。

【群馬県避難ビジョン指標（KPI）の達成状況（※一部）】
▶避難所運営マニュアル策定済み市町村の数
（目標）35→(実績）12（34.3%）
▶ボランティア団体の受入・給食施設・炊き出し機材の活用等により炊き出し体制を整備した市町村の数
（目標）35→(実績）7 （20.0%）
※危機管理課への聞き取りによる。

7. 県立学校の施設整備について（教育長）

県立学校の施設整備については、生徒が日常的に利用し、一日の大半の時間を過ごす場所であることから、「教育環境の整備」に向けて計画的に進めていく必要があります。また、災害発生時にはほとんどの県立学校が避難所に指定され、子どもやお年寄り、障害をお持ちの方など多様な方々も利用することから、「避難所の質の向上」の観点からも重要となります。
バリアフリー化およびトイレ洋式化の現状について質すとともに、今後も引き続き計画的な整備に努めるよう要望しました。

【県立高校施設のバリアフリー化の現状（全59校）】

	対応学校数	割合
バリアフリートイレ設置済	47校	80%
スロープ等による段差解消済	38校	64%
エレベーター設置済	30校	51%

※県立特別支援学校については全て 100%完了済。

【県立高校施設のトイレ洋式化の現状】

	平成24年度末	令和7年度末
普通教室棟のトイレ洋式化の割合	29%	74%

※令和 10 年度末に 100%完了見込み。

8. いちご振興について

（１）新品種について（農政部長）（２）県育成３品種の今後の展開について（知事）
群馬県ではいちごを「戦略的農畜産物」と位置付け、県育成品種「やよいひめ」の生産拡大やブランド力強化に取り組んでいます。そしてこのたび、新たに「群馬 IR-G1」「群馬 IR-G3」の 2 種類の新品種が開発されたことで、群馬県のさらなるいちご振興に向けた大きなチャンスが広がることになります。
新品種の本格販売に向けた現在の取り組み状況と今後のスケジュールを質すとともに、3 品種の今後の展開についての知事の思いを伺いました。
※「群馬 IR-G1」「群馬 IR-G3」は品種名になります。実際に流通する際の商品名となる「商標登録」は現在出願中で、年内には決定する見込みです（10 月末時点）。

9. 地元問題について（県土整備部長）

（１）県道前橋長瀞線（柳瀬橋工区）について　（２）県道上日野藤岡線（黒石工区）について
地域経済の活性化や渋滞解消、防災・減災対策や災害対応力の強化など、高い事業効果が見込まれる多野藤岡地域の道路インフラ整備について、現在の状況や今後の見通しについて質問・要望しました。

提案が実現!!

山本知事は答弁の中で、毎年9月18日に県庁昭和庁舎をライトアップすることを明言しました。また、せっかくの提案ということで、今年についても早速9月30日にライトアップを実施してもらいました。



※当日は当事者・ご家族の皆さんが集まり、喜びを分かち合いました。